

太 街 第 6 8 4 号

平成 20 年 10 月 23 日

国 土 交 通 省 道 路 局 長 様

兵庫県揖保郡太子町長 首 藤 正 弘



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（提出）

平成 20 年 9 月 19 日付国道企第 37 号をもって依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案

様式①

兵庫県太子町

1. 具体的支援の拡大

弱小な自治体においては、財源の確保が困難で道路整備が遅れがちであり、現行補助率のかさ上げを要望します。

2. 都市に人が集ることにより地方の過疎化が進んでおります。地域の住みやすさを考えると都市と地域の連携が必要であり地域特性に応じた道路整備を要望します。

○現状

本町では、東西軸として、国道２号バイパス・国道１７９号が。南北軸としては、県道太子御津線・県道大江島太子線・町道沖代線が主要な道路となっており渋滞等が頻繁に起こっている。

○課題

- ・国道２号バイパスは、朝夕の渋滞が慢性化している。
- ・南北軸の県道にあつては未整備区間が多数しめており非常に狭路なため、大型車両のすれ違いが困難な箇所が多い
- ・町道沖代線には、JR 跨線橋がかかっているために、播磨臨海部への大型車両が集中したり、また通過交通の増加に伴い朝夕は常時渋滞が発生しており、地区内の生活道路としての利用に支障が起こっている。
- ・本町では、JR 車両基地をまたぐ跨線橋が三箇所ありその全てが町道で維持管理に膨大な経費が必要となる。

- ・町道沖代線の渋滞解消並びに通過交通排除のための、現在事業中の揖保線の全線早期供用が必要である。
- ・国道２号バイパスの慢性的な渋滞の解消と播磨臨海部への物流効率化、経済の活性化のため、播磨臨海地域道路の早期実現化が必要である

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

兵庫県太子町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他